

PRTG Network Monitor – データフォルダの変更

この資料では、ドライブのディスク領域が不足している場合など、必要に応じて、別のドライブやディレクトリに PRTG Network Monitor のデータを移動する方法について説明します。

対象バージョン

この資料の対象バージョンは ver. 14.4.12 以降です。

情報源

この資料の情報源は以下のとおりです：

- ナレッジベース： How to Define a Different Drive or Data Directory for PRTG Installations
<https://kb.paessler.com/en/topic/543-how-can-i-change-the-data-directory-of-my-prtg-installation>

作業を始める前に...： データフォルダの場所と内容の確認

PRTG Network Monitor は [データフォルダ](#) に監視設定、監視データ、ログのデータを書き込みます：

場所	説明
データフォルダ	<p>監視設定、監視データ、ログの保存場所。</p> <p>デフォルトインストールの場合 (ver9 以降を新規にインストールした場合)：</p> <ul style="list-style-type: none"> Windows Vista, Windows 7, Windows 2008, Windows 8, Windows 2012, Windows 10 の場合： <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <pre>%programdata%\Paessler\PRTG Network Monitor</pre> </div> <p>注記： ProgramData フォルダはデフォルトでは隠しファイルと設定されているため、エクスプローラーに表示されません。表示するには、エクスプローラーの「表示 → 隠しファイル」にチェックをつけてください。</p> <p>メモ：</p> <ul style="list-style-type: none"> 「PRTG Administration Tool」を起動して「コアサーバー」タブ → 「データファイルパス」で実際のパスを確認してください。 過去の監視データやログも含めて移行したい場合は、ファイルサイズによってはバックアップに非常に長い時間がかかります。作業を開始する前に過去のデータを先にバックアップすることをご検討ください。 <p>データフォルダに含まれるファイルおよびフォルダについては、こちらをご参照ください。</p>

データフォルダ

データフォルダに含まれるファイルおよびフォルダは以下の通りです：

メモ： 移行先へのコピーが必須のファイルは赤色の背景色、履歴を持つ既存データは白色の背景色、必ずしも移行先へのコピーが必要でないフォルダは薄い青色の背景色としています。

データフォルダに含まれるファイル：

ファイル	説明	ファイル形式
PRTG Configuration.dat	監視設定 プローブ、グループ、デバイス、センサー、ユーザー、マップ、レポートなどの設定情報を含みます ※移行先へコピーします。	XML
PRTG Configuration.old	監視設定の旧バージョンのバックアップ	XML
PRTG Graph Data Cache.dat	Web インターフェース全体のグラフの事前計算されたデータ。見つからない場合、このファイルは「Monitoring Database」内のファイルから自動的に再計算されます。	PRTG 独自

データフォルダに含まれるフォルダ：

フォルダ	説明	ファイル形式
¥Configuration Auto-Backups	PRTG Configuration.dat のバックアップバージョン	ZIP / XML
¥Log Database	全システムのイベント履歴データベース。 Web インターフェースの「ログ」メニューから閲覧可能。	Raw データフォーマット (.db)
¥Logs (Debug)	コアおよびプローブシステムのログ	テキスト
¥Logs (Sensors)	センサーのデバッグログ。 センサー設定で有効にした場合に記録されます。ファイル名の末尾にセンサーの ID が付きます。	テキスト
¥Logs (System)	コア、プローブ、クラスターシステム、Enterprise Console のログファイルおよび特定のセンサーの結果ファイル	テキスト
¥Logs (Web Server)	PRTG Web サーバーの HTTP サーバログファイル	標準 Web サーバログ形式
¥Monitoring Database	(履歴レポートに必要な)すべてのセンサーの監視リクエスト結果	PRTG 独自
¥Report PDFs	ファイルシステムに保存された過去の PDF レポート	Adobe PDF
¥Screenshots (Fullpage Sensor)	HTTP 完全 Web ページセンサー の PhantomJS ブラウザエンジンにより保存されたスクリーンショット	JPG (サブフォルダ)
¥StreamLog	パケットスニファおよび xFlow(NetFlow, sFlow)センサーのログデータ。 センサー設定で無効の場合は使用されません。	CSV

¥Support Data	Paessler 社へログを送信した場合に収集されたログファイルデータが ZIP 圧縮されるフォルダ	LOG / TXT / ZIP
¥Syslog Database	受信した Syslog メッセージ	PRTG 独自
¥System Information Database	「システム情報」のデータ カテゴリ別にサブフォルダが存在します： hardware, users (loggedonusers), processes, services, software, system	PRTG 独自 (JSON 形式)
¥ToDo Database	「残件」エントリのデータベース	Raw データ形式 (.db) <i>廃止: PRTG 14.1.8</i>
¥Ticket Database	チケットのデータベース(ticketdata.dat)。 前回の整合性チェックに成功したときに作成されたバックアップ(ticketdata.old; PRTG 16.x.26)	Raw データ形式 (.dat)
¥Toplist Database	パケットスニファおよび xFlow (NetFlow, sFlow) センサーの履歴トップリスト用データベース	Raw データ形式(.top)
¥Trap Database	受信した SNMP トラップメッセージ	PRTG 独自

データフォルダの変更手順

ここではデータフォルダの変更について説明します。以下の手順に従って、作業を行ってください。

メモ: この資料では Windows 2012 R2、PRTG Network Monitor ver17.1.28.xxxx を使用しています。
ご利用のバージョンによっては画面イメージが異なる場合があります。

Step 1. PRTG Network Monitor をインストールしたコンピューターにログインします。

Step 2. PRTG 管理ツール(PRTG Administrator Tool)を開始します。

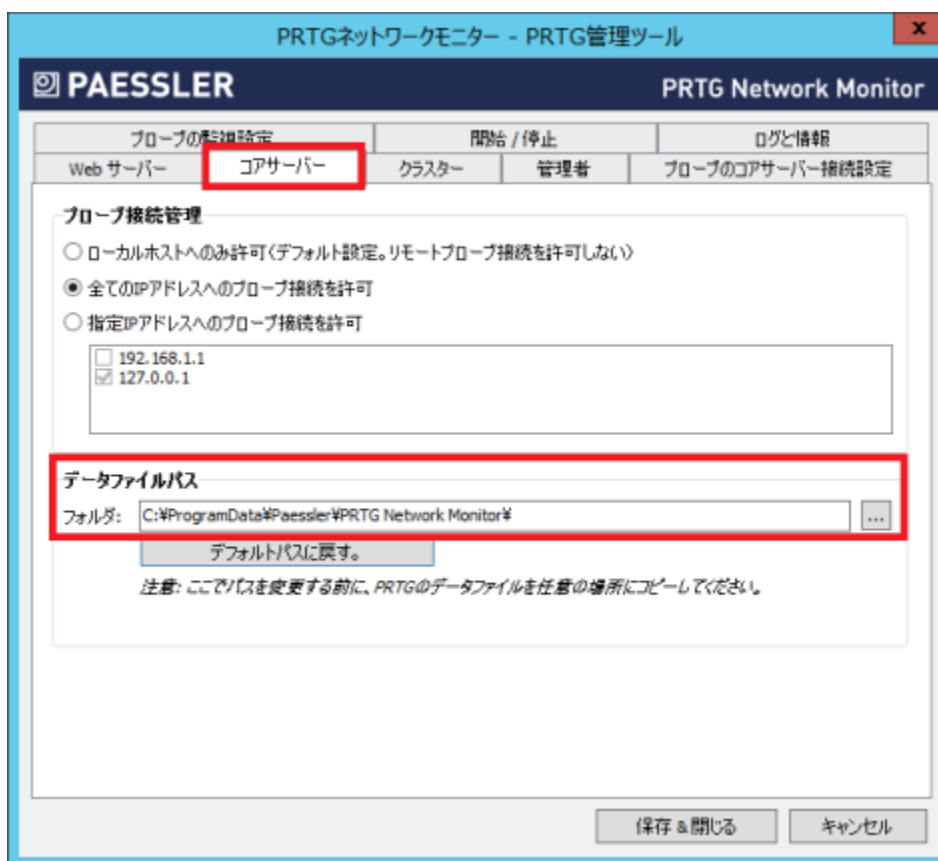


Step 3. 「開始/停止」タブを選択し「コアサーバーサービスを停止」をクリックします。

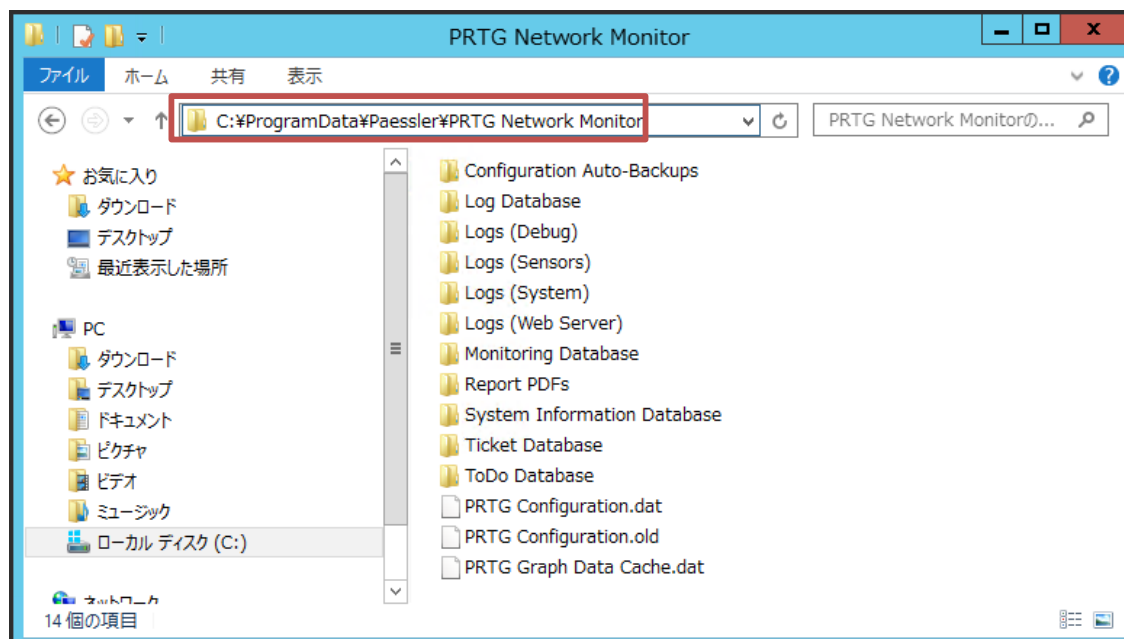
Step 4. つづいて「プローブサービスを停止」をクリックします。



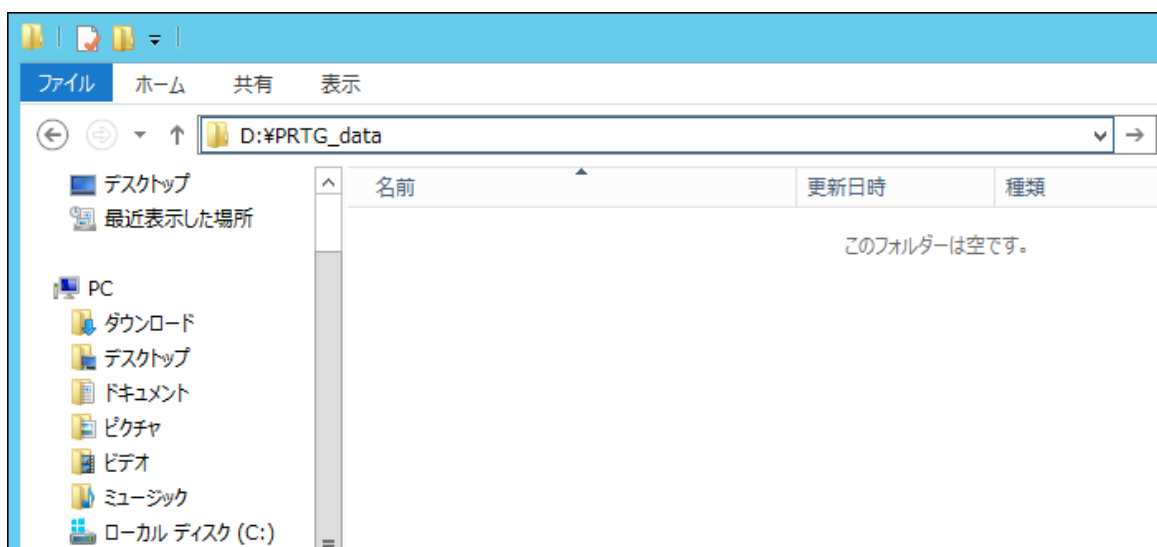
Step 5. 「コアサーバー」タブをクリックし、「データファイルパス」を確認します。



Step 6. このフォルダから設定ファイルとデータファイルを、新規フォルダにコピーする必要があります。



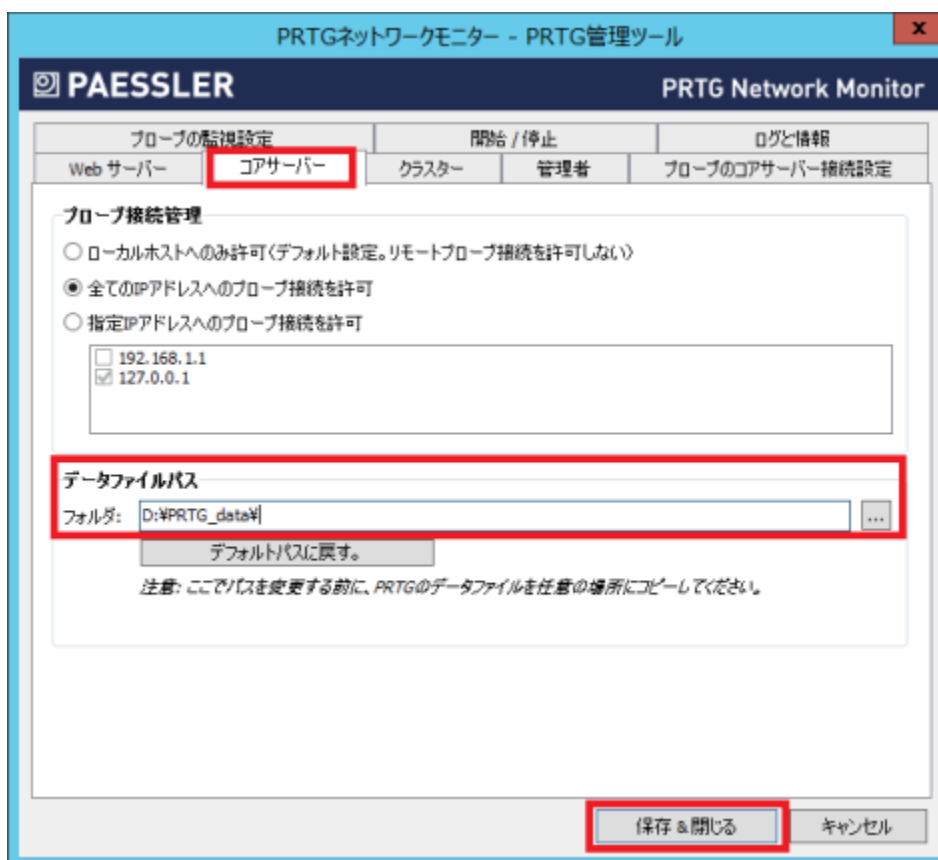
Step 7.この手順書ではコピー先の新規フォルダとして、次のフォルダ「D:¥PRTG_data」を用意しました。



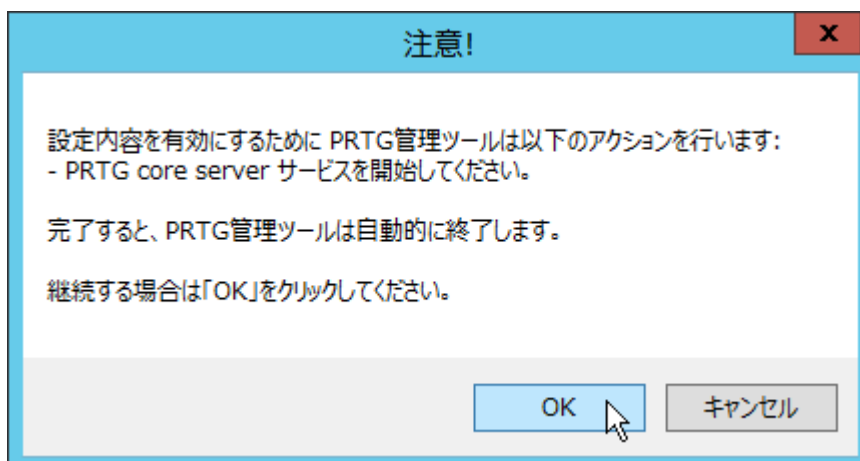
必要なファイルやフォルダを前掲の表で確認して、このフォルダにコピー（あるいは移動）します。

※ 既存データが全て不要な場合は、必要なのは設定ファイル PRTG Configuration.dat のみです。
PRTG が起動する際に必要なフォルダは自動的に再作成されます。

Step 8.「コアサーバー」タブをクリックし、「データファイルパス」を変更して「保存&閉じる」ボタンを押します。



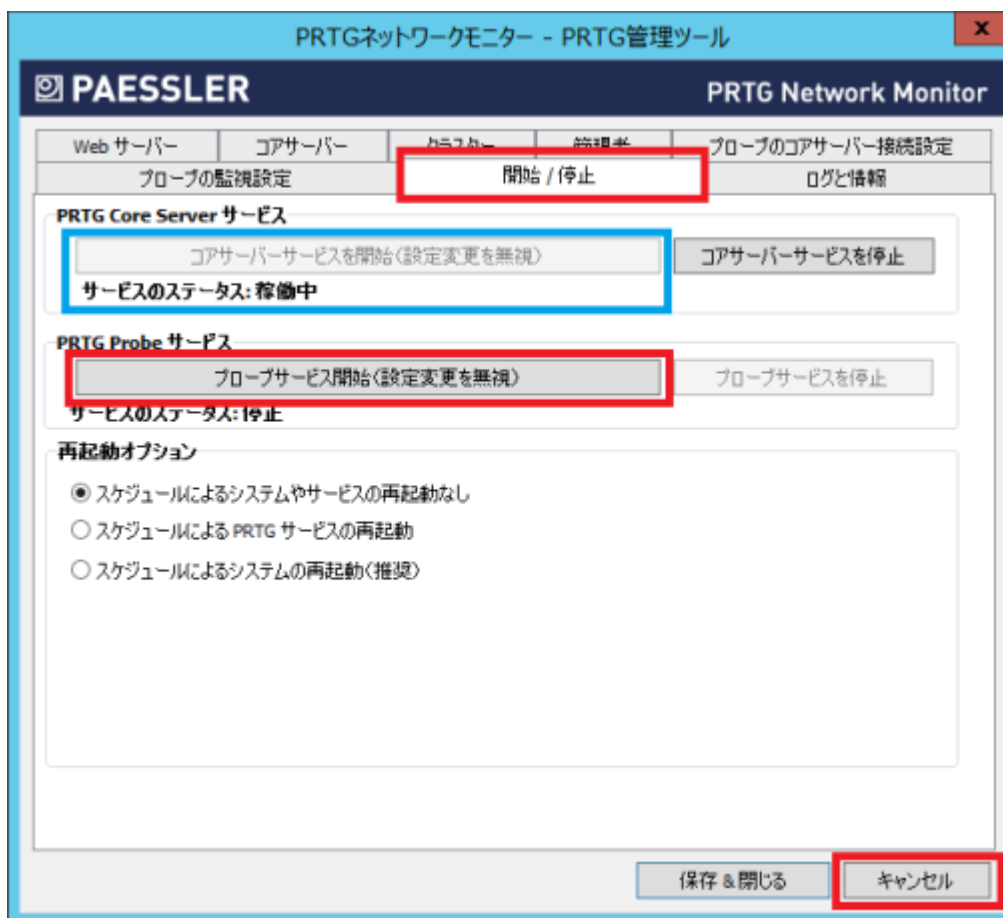
Step 9. 注意が表示されますので、内容を確認してから「OK」ボタンを押します。



※設定の変更を保存するためにPRTG コアサーバーサービスが起動します。その後PRTG 管理ツールは終了します

Step 10. PRTG 管理ツール(PRTG Administrator Tool)を開始します。

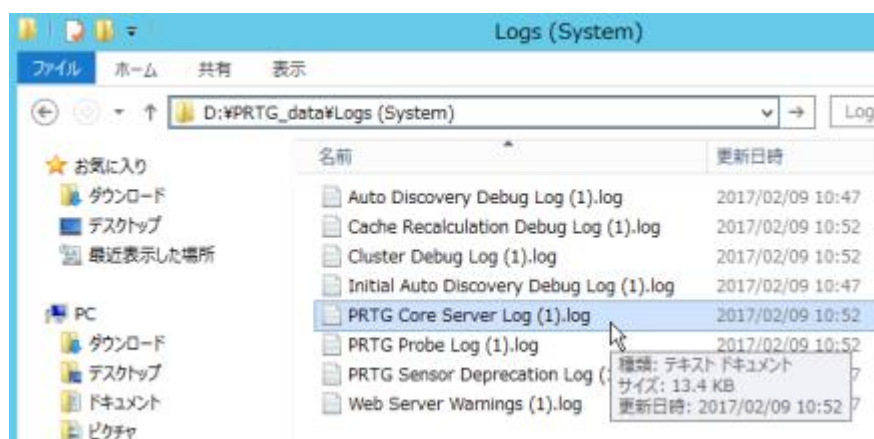
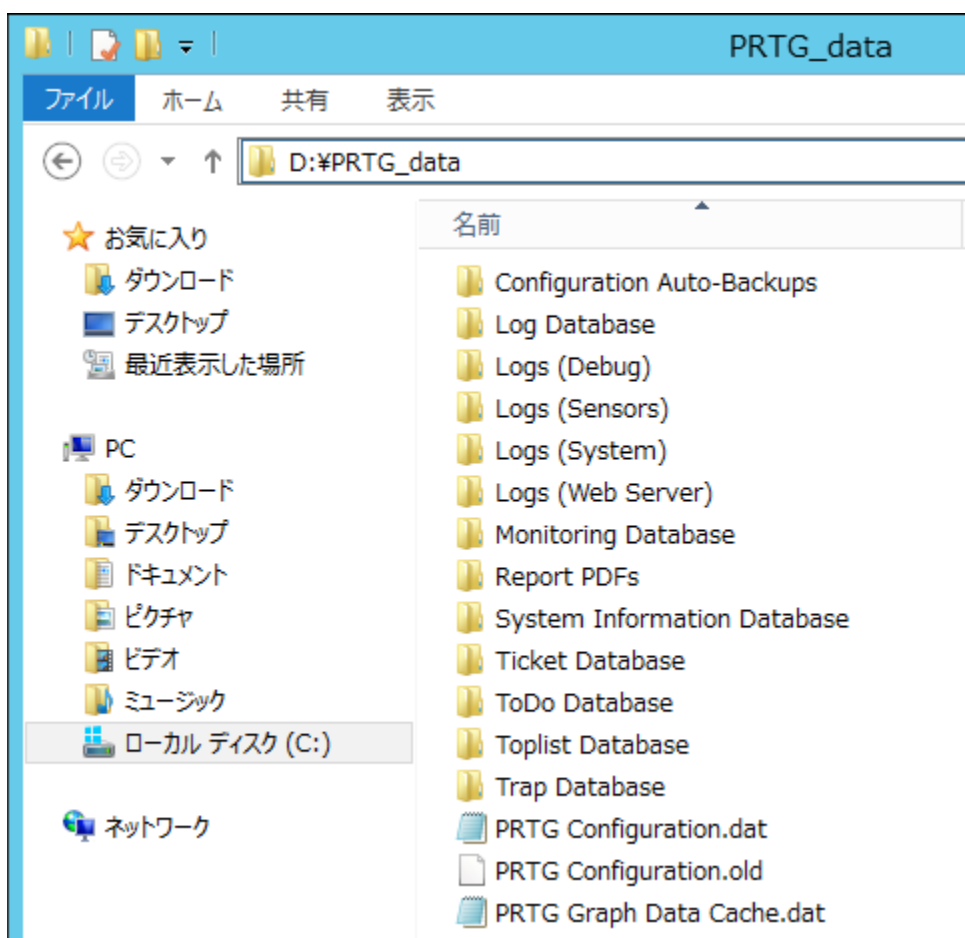
「開始/停止」タブ画面をクリックしてサービスの状態を確認します。プローブサービスが停止している場合は「プローブサービスを開始」ボタンをクリックします。



Step 11. 「キャンセル」をクリックして PRTG 管理ツールを終了します。

※ 「保存&閉じる」を押した場合は、もういちど PRTG が再起動します。

Step 12. 新しいデータフォルダを確認します。



※ Logs (System)の中のシステムログ PRTG Core Server Log をメモ帳で開いてログが最新の情報で更新されていることを確認します。

Step 13. ウェブ GUI で PRTG にログインします。



※ デバイスのツリー表示で既存の設定が正常に移されていることを確認します。

※ 移行した場合は、過去の監視データが正しく表示されることを確認します。

以上

お問い合わせ

PRTG Network Monitor について、ご不明な点などございましたらお問い合わせください：

ジュピターテクノロジー株式会社 (Jupiter Technology Corp.)

住所： 〒183-0023 東京都府中市宮町一丁目 40 番地 KDX 府中ビル 6F

URL: <http://www.jtc-i.co.jp/>

電話番号: 042-358-1250

FAX 番号: 042-360-6221

購入前のお問い合わせ先: <https://www.jtc-i.co.jp/contact/scontact.php> または
info@jtc-i.co.jp

購入後のお問い合わせ先: <https://www.jtc-i.co.jp/support/customerportal/>